

日本語能力の進歩がわかる J.TEST

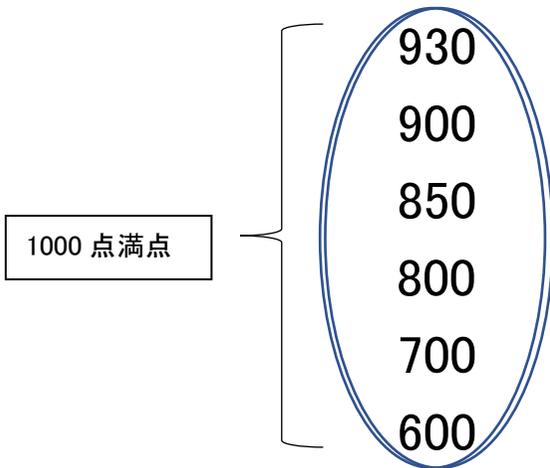
公開試験: 2019 年5月から3種類になります。

* 随時試験: 2019 年は、旧形式(「A-D」「E-F」)のみ実施。2020 年から新形式に対応。

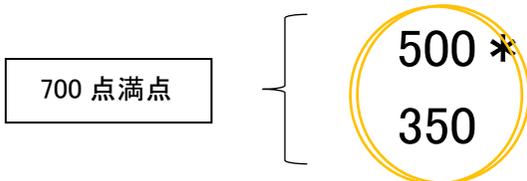
実用日本語検定

J.TEST(年6回+随時*)

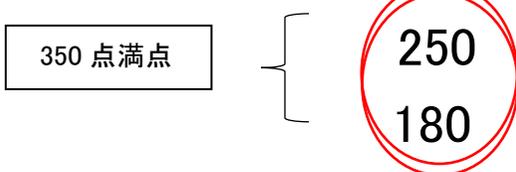
「A-C レベル試験」



「D-E レベル試験」



「F-G レベル試験」



日本語能力試験

JLPT(年2回)

(N1 以上の測定不可)

N1 * 大学入学レベル
N2 * 専門学校入学レベル

N3
N4 * 実習生入国レベル

N5 * 日本語学校入学レベル
(N6)

* 実際の JLPT に、N6 はありません。

* N3 相当が、旧 A-D 試験(1000 満点)の 400 点から、D-E 試験(700 点満点)の 500 点になりました。

- 2019年5月より、N3、N4相当の「D-Eレベル試験」が実施され、試験が3種類になります。
- 「A-Cレベル試験」は、N1以上のレベルの能力も測定します。

- ◆ 「A-Cレベル試験」 1000点満点 600点以上で認定
(参考 N1=700点、N2=600点)
- ◆ 「D-Eレベル試験」 700点満点 350点以上で認定
(参考 N3=500点、N4=350点)
- ◆ 「F-Gレベル試験」 350点満点 180点以上で認定
(参考 N5=250点、<N6*>=180点 *実際のJLPTにはN6はありません。)

- * **注意** N3相当が、(旧試験)A-Dレベル試験の400点以上から、(新試験)D-Eレベル試験の500点以上に変更になります。
- * ビジネス関連の問題は、「A-Cレベル試験」と「D-Eレベル試験」に引き継がれ、「ビジネス試験」は廃止されます。
- * 受験者全員に成績表が発行されます。規定の条件を満たした場合には認定証が発行されます。
- * 全ての試験において、読解問題と聴解問題の得点比率は各50%になります。
- * 「A-Cレベル試験」と「D-Eレベル試験」には、記述式問題があります。(従来の試験と同じ形式です)
- * 「F-Gレベル試験」は、全て選択式試験です。

実施月 「A-Cレベル試験」 「D-Eレベル試験」
1・3・5・7・9・11月

「F-Gレベル試験」
(国内)3・7・11月
(海外)1・3・5・7・9・11月 * 地域により異なります。

受験料 4,800円(国内)

国内実施都市

年6回(1・3・5・7・9・11月)
東京、名古屋、大阪、福岡

年3回(3・7・11月) * 「A-Cレベル試験」「D-Eレベル試験」のみ実施
札幌、仙台、静岡、神戸、京都、広島、**高松**、沖縄

海外実施地域

中国(大陸)、台湾、韓国、モンゴル、ベトナム、タイ、ネパール、ミャンマー
フィリピン、インドネシア、バングラデシュ、ブラジル

(今後の実施予定地域 マレーシア、カンボジア、インド、アメリカ)

A-Cレベル試験

- ・ 1000点満点で点数によって能力を特 A～C 級に判定します。
- ・ 600点以上の方には認定証が発行されます。
- ・ ただし「8分野の得点でゼロ点がないこと」が条件です。

[出題内容]

● 読解試験 80分	● 聴解試験 約45分
1 文法語彙問題	1 写真問題
2 読解問題	2 聴読解問題
3 漢字問題	3 応答問題
4 記述問題	4 会話・説明問題

- 読解試験終了後すぐに聴解試験が始まります。休み時間はありません。

[点数と評価]

- 1000点満点(読解500点、聴解500点)

< 特 A 級 > 930点以上

様々な分野、場面において、専門的な話題も理解し対応できる高度なコミュニケーション能力がある。

< A 級 > 900点以上 (CEFR C2)

様々な分野、場面において、専門的な話題も理解でき、十分なコミュニケーション能力がある。

< 準 A 級 > 850点

様々な分野、場面において、一般的な話題をほとんど理解でき、十分なコミュニケーション能力がある。

< B 級 > 800点以上

一般的な分野、場面において、十分なコミュニケーション能力がある。

< 準 B 級 > 700点以上 (CEFR C1)=N1 相当

日常生活や職場において、十分なコミュニケーション能力がある。

< C 級 > 600点以上 (CEFR B2)=N2 相当

日常生活や職場において、基本的なコミュニケーション能力がある。

< 認定なし > 600点未満

日本語能力試験N1 =700点

日本語能力試験N2 =600点

* 日本語能力試験との比較は目安です。

D-Eレベル試験

- ・ 700点満点で点数によって能力を D～E 級に判定します。
- ・ 350点以上の方には認定証が発行されます。
- ・ ただし「8分野の得点でゼロ点がないこと」が条件です。

[出題内容]

● 読解試験 70分	● 聴解試験 約35分
1 文法語彙問題	1 写真問題
2 読解問題	2 聴読解問題
3 漢字問題	3 応答問題
4 記述問題	4 会話・説明問題

- 読解試験終了後すぐに聴解試験が始まります。休み時間はありません。

[点数と評価]

●700点満点(読解350点、聴解350点)

< D 級 > 500点以上 (CEFR B1)=N3 相当

日常生活や職場の限られた場面において、ある程度のコミュニケーション能力がある。

< E 級 > 350点以上 (CEFR A2)=N4 相当

日常生活や職場の限られた場面において、初級レベルの日本語の範囲ならば、コミュニケーションができる。

< 認定なし > 350点未満

日本語能力試験N3 = 500点 日本語能力試験N4 = 350点

* 日本語能力試験との比較は目安です。

F-Gレベル試験

- ・ 350点満点で点数によって能力をF~G級に判定します。
- ・ 180点以上の方には認定証が発行されます。
- ・ ただし「8分野の得点でゼロ点がないこと」が条件です。

[出題内容]

● 読解試験 60分	● 聴解試験 約25分
1 文法語彙問題	1 写真問題
2 読解問題	2 聴読解問題
3 漢字問題	3 応答問題
4 短文作成(*選択式)	4 会話・説明問題

● 読解試験終了後すぐに聴解試験が始まります。休み時間はありません。

[点数と評価]

●350点満点(読解175点、聴解175点)

< F 級 > 250点以上(CEFR A1)=N5 相当

初級レベル前期の日本語の範囲ならば、コミュニケーションができる。

< G 級 > 180点以上

入門レベルの日本語の範囲ならば、コミュニケーションができる。

< 認定なし > 180点未満

日本語能力試験N5 = 250点

* 日本語能力試験との比較は目安です。

<http://j-test.jp>

J.TEST 日本事務局 160-0002 東京都新宿区四谷坂町 9-9 三廣ビル9F
TEL: 03-6273-1814 FAX: 03-6273-1815
ip@j-test.jp

J.TEST